

「神が与えられるもの」ヤコブ1：12～18 堀田修一 21・2・7

I 悪への誘惑は、神からではなく悪魔と私たち自身の欲によるもの。

1. 「だれでも誘惑されているとき、神に誘惑されていると言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれかを誘惑することはありません」：13。

2. 「人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです」：14。誘惑を神のせいにし、責任転嫁をしてはならない。「思い違いをしてはいけません」：16。原因は、神ではなく、「自分の欲」と明確に言われている。私たちは皆、心の内側に罪の欲がある。外側が立派そうに見えても。「内側から、すなわち人の心の中から、悪い考えが出て来ます。淫らな行い、盗み、殺人、姦淫、貪欲、悪行、欺き、好色、ねたみ、ののしり、高慢、愚かさで、これらの悪は、みな内側から出て来て、人を汚すのです」(マルコ7：21～23)。「自分の欲に引かれ」→外の悪い場所に引かれる前に、自分の内面の悪い欲に引かれることから罪は始まっている。罪、悪は、悪魔と自分の内の欲望との共同の業。「誘われるからです」→原語は「えさ」から由来する。私たちは、安全な場所からわざと出て、悪のえさに引き寄せられ、その中に罪と死の針があることも知らず、おびき寄せられる。※釣りの譬え。それ故に→

①私たちはまず、自分の心の内側が聖められるように祈ることが大切。「神よ 私にきよい心を造り、揺るがない霊を 私のうちに新しくしてください」(詩51：10)。

②できる限り、罪のえさが多く、自分が弱いとわかっている所に近づかない。「あなたの道を彼女から遠ざけ、その家の門に近づくな」(箴5：8)。不品行、不正の富、異性との不倫の罪からの守りのため。祈りたい。悪に近づかないという消極的面だけでなく、逆に、素晴らしい神に近づき、神と幸いな交わりを持ちたい。コップから、悪い空気を出す秘訣は、コップに、清い水を満たす事であるように。

③自分に罪を犯させるものから、必死に逃げ(創39：10～12)、避ける「不品行を避けなさい」(Iコリ6：18)。試練は、主に頼り、受け止め、逃げないで、そこにおられる主にとどまる。神は、私達を試練で霊的に鍛えられる。逆に悪魔と私たちの内にある欲望から出る罪の誘惑は、主に頼り、避けることが大切。

④自分の罪を悔い改め神に心から祈ると同時に、信頼できる人(大勢の人に言う必要はない)に正直に自分の弱さを打ち明け共に主に祈ってもらう。それは大きな力です!「あなたがたは癒されるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人(完璧な人のことではなく、自分の罪を神に正直に告白し赦しをいただく人)の祈りは、働くと大きな力があります」(ヤコブ5：16)。3. 「欲がはらむ(身ごもる)と罪を生み、罪が熟すると死を生みます」：15。悪い行いをした時に罪が生まれるのではなく、悪い願望にすぐに「ノー」と言わず、それを心の中でじっと暖め、身ごもらせる時、罪が生まれる。鋭い御言葉の指摘。「罪が熟して」→何度、主の御声を聞いても罪を悔い改めず、主を信じないで、罪が熟する。その結果「死を生みます」→主を信じないで罪にとどまる人は、地上でも体と心を滅ぼし希望のない死(第一の死)を迎え、死後も永遠に火と硫黄の燃える池の中で苦しむさばき(第二の死)を受ける(黙21：8)。「罪から来る報酬は死(神から離れた滅びの死)です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主イエス・キリストにある永遠のいのちです(神を深く知り続け神と永遠に交わり愛される命)(ローマ6：23)。

Ⅱ 神が与えて下さる素晴らしいもの。

1. 試練といのちの冠。：12。神は、私たちの信仰（神への信頼）をためす試練を与えられる。個人的にも、教会にも。その動機は愛→「主はその愛する者を訓練し」（ヘブル12：6）。試練の中で、私は神に愛されていないと誤解してはならない。その試練を通して私たちは神に必死に頼ることを学び、忍耐が与えられ、どんな時にも神に信頼して歩む者に変えられ続け、主の姿に成長させられて行く。「耐え抜いた（原語：試験された結果、本物であることを証明された）人は、神を愛する者たちに約束された、いのちの冠（神の報いという冠。この地上でも忍耐が生まれ、主の姿への成長、生きておられる神を体験する恵み、天でも報いが待っている）を受けるからです」：12。

2. 「すべての良い贈り物、またすべての完全な賜物」：17。神は誘惑ではなく、かえって、すべての良い贈り物、またすべての完全な（動機においても純粹、無代価な、十分な）賜物を与えて下さる素晴らしいお方。命、体、食物、着物、住まい、光、水、酸素、水素、土、他すべてを与えておられる。「天の父は…太陽を上らせ…雨を降らせてくださる」（マタイ5：45）。「光を造られた父が下さるのです」→天体の最も強力な代表的存在の太陽（光）、地上のすべての生物の生存を可能にする太陽（光）を造られたお方。「父には移り変わりや、移り行く影はありません」：17。世の物、私たち人間の心、愛は移り変わる。しかし、父なる神は、移り変わる方ではなく、永遠に変わらない愛で愛して下さる。私達にすべての必要、良い贈り物、ひとり子のイエス様でさえ救い主として与え、すべての罪の赦しと永遠の命を与えて下さる。主を信じる者の心に御聖霊を与え、御霊の実、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制を与えて下さる。力と、愛と思慮分別、知恵、判断力を与えて下さる。この地上で死を迎えても、天国に迎え、永遠に愛して下さる。世の終わりに主が再臨される時、栄光の体も与えて下さる。新しい天と地を与えられる。

3. 神からの最高の贈り物＝新生、新しいいのち。「父はみこころのままに、真理のことばをもって私たちをお生みになりました（私たちを救い、新しいいのちを与えられた）。私たちを、いわば被造物の初穂（被造物も世の終わりに新しくされる保証）にするためです」：15と対照的。「被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます」ローマ8：21

4. 他の御言葉の励まし。「今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くして下さらないでしょうか」マタイ6：30。「まず神の国と神の義（神のみこころ）を求めなさい。そうすれば、これらのもの（真に必要なもの）はすべて、それに加えて与えられます」6：33。「私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか」ローマ8：32。「神は、…あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19

Ⅲ 神の先行的恵みへの私達の応答

1. 自分の罪を認め告白し、主を信じ、素晴らしい救いをいただく。
2. 罪の誘惑に負けないように主に祈り、また互いに祈り合う。
3. 試練の中で神を見上げ、神を信頼して歩む。そこにも意味があり、神が益として下さることを信じ、自分がなすべきことを主に尋ね、主の力に頼り、小さい事からコツコツとなし続ける。
4. 神がすべての恵みを与えておられることを忘れず、神を信頼し神に必要なを求め、主の恵みを数え心から感謝する。